

## 02 乳癌

※ レジメン名称を [クリック](#)または [Ctrl](#) -[クリック](#)してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、[“現在のページを印刷する”](#)を選んでください。

	分類	コード	レジメン名称	備考
1	共通	02002-3A	<a href="#">EC75</a>	
2	共通	02002-4A	<a href="#">EC100</a>	
3	共通	02003-1A	<a href="#">Doc75</a>	
4	共通	02005-1A	<a href="#">Doc75+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回)</a>	
5	共通	02005-2A	<a href="#">Doc75+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降)</a>	
6	共通	02006-5A	<a href="#">Pacli w 療法(2週目)</a>	
7	共通	02006-6A	<a href="#">Pacli w 療法(3週目)</a>	
8	共通	02006-8A	<a href="#">Pacli w 療法(1週目)</a>	
9	共通	02008-1A	<a href="#">TC療法</a>	
10	科別(乳腺)	02009-1B	<a href="#">トラスツズマブ(4mg)(初回)</a>	
11	科別(乳腺)	02009-2B	<a href="#">トラスツズマブ(2mg)(2q以降)</a>	
12	科別(乳腺)	02010-1B	<a href="#">トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回)</a>	
13	科別(乳腺)	02010-2B	<a href="#">トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降)</a>	
14	科別(乳腺)	02011-1B	<a href="#">アブラキサン(3w)(乳)</a>	
15	科別(乳腺)	02012-1B	<a href="#">エリブリン(2投1休)</a>	
16	科別(乳腺)	02013-1B	<a href="#">GEM(2投1休)</a>	
17	科別(乳腺)	02015-1B	<a href="#">GEM(2投1休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)</a>	
18	科別(乳腺)	02015-2B	<a href="#">GEM(2投1休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)</a>	
19	科別(乳腺)	02016-2B	<a href="#">GEM+Pacli</a>	
20	科別(乳腺)	02017-1B	<a href="#">VNR(2投1休)</a>	
21	科別(乳腺)	02019-1B	<a href="#">VNR(2投1休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回)</a>	
22	科別(乳腺)	02019-2B	<a href="#">VNR(2投1休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降)</a>	
23	科別(乳腺)	02020-2B	<a href="#">ベバシズマブ(1/2w)+パクリタキセル(3投1休)</a>	
24	科別(乳腺)	02021-1B	<a href="#">CMF(original)(入院用)</a>	
25	科別(乳腺)	02021-2B	<a href="#">CMF(original)(外来用)</a>	
26	科別(乳腺)	02022-1B	<a href="#">CMF(modified)</a>	
27	科別(乳腺)	02023-1B	<a href="#">CPT-11 original(3投2休)</a>	
28	共通	02024-1A	<a href="#">Doc75+ペルツズマブ+トラスツズマブ(3w)(初回)</a>	
29	共通	02024-2A	<a href="#">Doc75+ペルツズマブ+トラスツズマブ(3w)(2q以降)</a>	
30	共通	02027-1A	<a href="#">カドサイラ療法</a>	
31	科別(乳腺)	02028-1B	<a href="#">エリブリン+トラスツズマブ療法(8mg)(3w)初回</a>	
32	科別(乳腺)	02028-2B	<a href="#">エリブリン+トラスツズマブ療法(6mg)(3w)2q以降</a>	

## 02 乳癌

※ レジメン名称を [クリック](#)または [Ctrl + クリック](#)してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、[“現在のページを印刷する”](#)を選んでください。

	分類	コード	レジメン名称	備考
33	共通	02029-1A	<a href="#">Doc+CBDCA+トラスツスマブ (8mg)(3w)(初回)</a>	
34	共通	02029-2A	<a href="#">Doc+CBDCA+トラスツスマブ(6mg)(3w)(2q以降)</a>	
35	共通	02030-5A	<a href="#">ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(初回)(1週目)</a>	
36	共通	02030-6A	<a href="#">ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(初回)(2週目)</a>	
37	共通	02030-7A	<a href="#">ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(DEX1.65mg)</a>	
38	共通	02030-8A	<a href="#">ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(2q以降)(1週目)</a>	
39	共通	02031-1A	<a href="#">dose-denseEC療法</a>	
40	共通	02032-1A	<a href="#">TC+トラスツスマブ(8mg)(3w)(初回)</a>	
41	共通	02032-2A	<a href="#">TC+トラスツスマブ(6mg)(3w)(2q以降)</a>	
42	共通	02033-1A	<a href="#">アテゾリズマブ+nab-Paclitaxel療法(初回)</a>	
43	共通	02033-2A	<a href="#">アテゾリズマブ+nab-Paclitaxel療法(2q以降)</a>	
44	共通	02034-5A	<a href="#">トラスツスマブ(3w)+パクリタキセル(1q目)(1週目)</a>	
45	共通	02034-6A	<a href="#">トラスツスマブ(3w)+パクリタキセル(1q目)(2週目)</a>	
46	共通	02034-7A	<a href="#">トラスツスマブ(3w)+パクリタキセル(DEX1.65mg)</a>	
47	共通	02034-8A	<a href="#">トラスツスマブ(3w)+パクリタキセル(2q以降)(1週目)</a>	
48	共通	02035-2A	<a href="#">ドーズデンスパクリタキセル療法</a>	
49	共通	02036-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ+ゲムシタビン+カルボプラチン療法(3週間間隔)</a>	
50	共通	02037-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ(3週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間間隔)1クール目</a>	
51	共通	02037-2A	<a href="#">ペムブロリズマブ(3週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間間隔)2クール目以降</a>	
52	共通	02038-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ(400mg6週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間間隔)1クール目</a>	
53	共通	02038-2A	<a href="#">ペムブロリズマブ(400mg6週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間間隔)2クール目以降</a>	
54	共通	02039-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ(3週間間隔)+nab-Paclitaxel療法(12週間間隔)</a>	
55	共通	02040-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ(400mg6週間間隔)+nab-Paclitaxel療法(12週間間隔)</a>	
56	共通	02041-1A	<a href="#">ナブパクリタキセル(毎週)+ベバシズマブ療法</a>	
57	共通	02042-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ+パクリタキセル+カルボプラチン(3週間間隔)</a>	
58	共通	02043-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ+パクリタキセル+カルボプラチン(1週間間隔)</a>	
59	共通	02044-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ+EC</a>	

60	共通	02045-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ (術後)(3w)(乳癌)</a>	
61	共通	02046-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ(術後)(6w)(乳癌)</a>	
62	共通	02047-1A	<a href="#">トラスツズマブ デルクステカン(乳癌)</a>	
63	共通	02048-1A	<a href="#">【初回】フェスゴ配合皮下注 IN</a>	
64	共通	02048-2A	<a href="#">フェスゴ配合皮下注 MA(維持)</a>	
65	共通	02049-1A	<a href="#">(1-1)PTX+フェスゴ配合皮下注 IN</a>	
66	共通	02049-2A	<a href="#">(1-2)PTX+フェスゴ配合皮下注 MA</a>	
67	共通	02049-3A	<a href="#">(1-3)PTX+フェスゴ配合皮下注 MA</a>	
68	共通	02049-4A	<a href="#">(2-1以降)PTX+フェスゴ配合皮下注 MA</a>	



02003	乳 癌	Doc75	申請科
			外科

H.27.7 改訂 H30.3 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケル)
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	i. v. (1h以上)	day1
<b>3週毎</b> <b>耐性になるまで</b>			
			化療ベット予約:2時間で登録
Regimen			
	<b>day1</b>		
30分	メイン①グラニセロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		
60分	側①5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ( )mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
<b>備 考</b>			
<b>【レジメンシステム登録】</b> 02003-1A Doc75			

02005	乳 癌	Doc75+トラスツズマブ(3w)	申請科
			外科

H23.5 登録 H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30min) ※	day1 3週毎
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	div. (1h以上)	day1 3週毎

耐性になるまで

化療ベット予約:2時間30分で登録

Regimen

day1		備考
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため前投薬(側②)は側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg
※		
90分	側①生理食塩液 250mL 1B	
or	トラスツズマブ ( )mg	
30分	大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	
30分	側②グラニセロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V	
60分	側③5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ( )mg	<b>【レジメンシステム登録】</b> 02005-1A Doc75+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90分で登録 02005-2A Doc75+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降) ・トラスツズマブ投与時間 30分で登録
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B	

02006	乳 癌	Pacli w 療法	申請科
			外科

H22.5 改訂 H30.9 改訂 H31.1 改訂 R3.9 改訂 R6.10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel)	80mg/m <sup>2</sup>	div. (1h).	weekly
12 週連続 耐性になるまで			
(外来)化療ベット予約:2 時間で登録			
Regimen			
	<b>day1</b>		<b>備 考</b>
10 分	メイン①生理食塩液 100mL 1B ※デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A		※デキサート注  (初回) 1 週目 6.6mg 、 2 週目 3.3mg (3q 以降) 3 週目以降 1.65mg
30 分	側①生理食塩液 50mL 1B		・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。
60 分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液( )mg		【レジメンシステム登録】 02006-5A Pacli w 療法(2 週目) ・2 週目のみのレジメン。DEX3.3mg 02006-6A Pacli w 療法(3 週目) ・3 週目のみのレジメン。DEX1.65mg 02006-8A Pacli w 療法(1 週目) ・1 週目のみのレジメン。DEX6.6mg
全開 (5 分)	側③生理食塩液 50mL 1B		

02007

乳 癌

Pacli w 療法+トラスツズマブ

申請科

外科

H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.9 改訂 R4.3 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 4mg/Kg 2回目以降 2mg/Kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※1	day1、8、15、22
パクリタキセル (paclitaxel)	80mg/m <sup>2</sup>	div. (1h).	day1、8、15

再発・難治の場合: 耐性になるまで

術前術後化学療法の場合: パクリタキセルとトラスツズマブを毎週投与(12 週)

(外来)化療ベット予約: day1,8,15 は 2 時間 30 分、day22 は 1 時間で登録

## Regimen

5 分 ※1	day1、8、15 メイン①生理食塩液50mL 1B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・側②生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。(また、トラスツズマブと糖液の混合も回避)</li> <li>・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。</li> <li>・蒸留水は体重換算の量で登録 2mg/kg→0.095mL/kg 4mg/kg→0.190mL/kg</li> </ul>
90 分 or 30 分	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	
10 分	メイン②生理食塩液 100mL 1B ※2 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1V	
30 分	側②生理食塩液 50mL 1B	
60 分	側③5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg	
全開 (5 分)	側④生理食塩液 50mL 1B	
5 分 ※1	day22 メイン①生理食塩液50mL 1B	
90 分 or 30 分	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	
全開 (5 分)	側②生理食塩液50mL 1B	

## 備考

※1 トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。

※2 デキサート注

初回6. 6mg、2回目3. 3mg、3回目1. 65mg



02008	乳 癌	TC療法	申請科
			外科

H21.8 承認 H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.2 改訂 **R3.5 改訂**

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケル)
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	i. v. (1h以上)	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	600mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1
3週毎 6回(標準4回) <span style="float: right;">化療ベット予約:2時間30分で登録</span>			
Regimen			
	<b>day1</b>		
30分	メイン①グラニセロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 2B		
60分	側①5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ( )mg		
30分	側②生理食塩液 250mL 1B エンドキサン ( )mg		
全開 (5分)	側③生理食塩液 50ml 1B		
<b>備 考</b>			
【レジメンシステム登録】 02008-1A TC療法			

02009	乳 癌	トラスツズマブ	申請科
			外科

H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 4mg/kg 2回目以降 2mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	weekly(休薬なし)

耐性になるまで

化療ベット予約:1時間で登録

Regimen

		備 考
	<b>Weekly day1</b>	
5分 ※	メイン①生理食塩液50mL 1B	※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 2mg/kg→0.095mL/kg 4mg/kg→0.190mL/kg
90分 or 30分	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	
全開 (5分)	側②生理食塩液50mL 1B	
		<b>【レジメンシステム登録】</b> 02009-1B トラスツズマブ(4mg)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90分で登録 02009-2B トラスツズマブ(2mg)(2q以降) ・トラスツズマブ投与時間 30分で登録

02010	乳 癌	トラスツズマブ(3w)	申請科
			外科

平成 23 年 5 月登録 H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg	div (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	Day1
3週毎			
化療ベット予約:1時間で登録			
Regimen			
	<b>day1</b>		
5分 ※	メイン①生理食塩液50mL 1B		<b>備 考</b> ※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/k <b>【レジメンシステム登録】</b> 02010-1B トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90 分で登録 02010-2B トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降) ・トラスツズマブ投与時間 30 分で登録
90分 or 30分	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		
全開 (5分)	側②生理食塩液50mL 1B		

02011	乳癌	アブラキサン(3w) (乳)	申請科
			外科

平成22年11月承認 H23.7月改訂 H30.9改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
アブラキサン (Paclitaxelアルブミン 懸濁型)	260mg/m <sup>2</sup>	div(30分)	Day1

3週毎

効果なくなるまで

化療ベット予約:1時間で登録

Regimen

5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B		
30分	側①生理食塩液 ( ) mL ※アブラキサン ( )mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B  ※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL) =  $\frac{260\text{mg}/\text{m}^2 \times \text{体表面積}}{100\text{mg}} \times 20\text{mL}$		
		備 考	
		<p>※アブラキサン注は特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。</p> <p>・投与時、インラインフィルターは使用しない。</p> <p>【レジメンシステム登録】 02011-1B アブラキサン(3w) (乳)</p>	

02012	乳癌	エリブリン(2投1休)	申請科
			外科

H23.8 承認、H25.3 改訂(DEX 追加) H30.9 改訂 R6.10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ハラヴェン静注 (エリブリンメシル酸塩)	1. 4mg/m <sup>2</sup>	div(2~5分)	Day1、8

3週毎

効果なくなるまで

化療ベット予約:30分で登録

Regimen

	<b>day1、8</b>		
10分	メイン①生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V		
5分	側①生理食塩液 50 mL 1B ハラヴェン静注 ( )mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
<b>備 考</b>			
<b>【レジメンシステム登録】</b> 02012-1B エリブリン(2投1休) ・投与時間5分で登録			

02013	乳癌	GEM(2投1休)	申請科
			外科

平成 22 年 5 月承認 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1250mg/m <sup>2</sup>	div(30分)	Day1、8 2投1休
2投1休 3週毎 効果なくなるまで <span style="float: right;">化療ベット予約:1時間30分で登録</span>			
Regimen			
	<b>day1、8</b> 30分 メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V 30分 側①5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg 全開 側②生理食塩液 50mL 1B (5分)		
備 考			
<b>【レジメンシステム登録】</b> 02013-1B GEM(2投1休)			

02015	乳癌	GEM(2投1休)+トラスツズマブ(3w)	申請科
			外科

H23.5 登録 H27.7 改訂 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケル)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg	div 初回 90min以上 2回目以降 30min※	Day1
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1250mg/m <sup>2</sup>	div(30分)	Day1、8 2投1休

3週毎

効果なくなるまで

化療ベット予約: day1 は 2 時間、day8 は 1 時間 30 分で登録

Regimen

day1		day8	
5分 ※	メイン①生理食塩液 50mL 1B	30分	メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V
90分 or 30分	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解 しています)	30分	側①5%ブドウ糖 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg
30分	側②グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V	全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B
30分	側③5%ブドウ糖 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg	<b>備 考</b> ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg	
全開 (5分)	側④生理食塩液50mL 1B		

備 考
※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため day1 の前投薬(側②)は側管から投与。

【レジメンシステム登録】

02015-1B GEM(2投1休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)

- ・初回ケル用
- ・トラスツズマブ投与時間 90 分で登録

02015-2B GEM(2投1休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)

- ・2ケル目以降用
- ・トラスツズマブ投与時間 30 分で登録
- ・2018年6月委員会にて投与順序変更を承認

GEM→トラスツズマブからトラスツズマブ→GEMへ変更

02016	乳 癌	GEM+Pacli 療法	申請科
			外科

H22年5月承認、H26年3月改訂 H28.9 改訂H29.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R4.3 改訂

R6.10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel)	175mg/m <sup>2</sup>	div. (180分).	Day1
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1250mg/m <sup>2</sup>	div(30分)	Day1、8
耐性になるまで、3 週毎 (外来)化療ベット予約: day1 は 4 時間 30 分、day8 は 1 時間で登録			
Regimen			
	<b>day1</b>		<b>day8</b>
15 分	メイン①グラニセロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 3V ファモチジン注20mg 1V ポララミン注 5mg 1A	15 分	メイン①グラニセロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V
30 分	側①生理食塩液 100mL 1B	30 分	側①5%ブドウ糖 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg
180 分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg	全 開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B
30 分	側③5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg		
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B		
備 考			
・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。			
【レジメンシステム登録】 02016-2B GEM+Pacli			



02017	乳 癌	VNR(2 投 1 休)	申請科
			外科

H.27.7 改訂 H30.9 改訂 R3.10 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ロゼウス静注液 (vinorelbine)	25mg/m <sup>2</sup>	i.v.	day1, 8
<b>3週毎</b> <b>効果なくなるまで</b>			
<span style="color: red;">化療ベット予約:1時間で登録</span>			
Regimen			
	<span style="color: red;">day1, 8</span>		
全開 (5分)	メイン①生理食塩液 50mL	1B	
全開 (5分)	側①生理食塩液 50mL ロゼウス静注液 ( )mg	1B	
30分	側②生理食塩液 250mL デキサート注 6.6mg	1B 2V	
	ポート①生理食塩液 20mL	1本 フラッシュ	
<b>備 考</b>			
・WBC2000 未満の時は投与延期。 <b>【レジメンシステム登録】</b> 02017-1B VNR(2 投 1 休)			

02019	乳 癌	VNR(2 投 1 休)+トラスツズマブ(3w)	申請科
			外科

H23.5 登録 H27.7改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.10 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	Day1
ロゼウス静注液 (vinorelbine)	25mg/m <sup>2</sup>	i.v.	Day1, 8

3週毎

耐性になるまで

化療ベット予約:day1 は 1 時間 30 分、day8 は 1 時間で登録

Regimen

day1		day8	
5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B
※		5 分	側①生理食塩液 50mL 1B
90 分	側①生理食塩液 250mL 1B		ロゼウス静注液 ( )mg
or	トラスツズマブ ( )mg	30 分	側②生理食塩液 250mL 1B
30 分	大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		デキサート注 6. 6mg 2V
			ポート①生理食塩液 20mL 1本 フラッシュ
<b>備 考</b>			
5 分	側②生理食塩液 50mL 1B ロゼウス静注液 ( )mg	・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/k	
30 分	側③生理食塩液 250mL 1B デキサート注 6. 6mg 2V	<b>【レジメンシステム登録】</b> 02019-1B VNR(2 投 1 休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・初回クール用 ・トラスツズマブ投与時間 90 分で登録	
	ポート①生理食塩液 20mL 1本 フラッシュ	02019-2B VNR(2 投 1 休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降) ・2クール目以降用 ・トラスツズマブ投与時間 30 分で登録	
<b>備 考</b>			
※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。			

02020

乳 癌

べバシズマブ(1/2w)+パクリタキセル(3投1休)

申請科

外科

H23.11 承認 H30.9 改訂 R3.9 改訂 R4.3 改訂 R4.12 改訂 R6.10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel)	90mg/m <sup>2</sup>	div. (1h).	day1、8、15 3投1休
べバシズマブ (Bevacizumab)	10mg/kg	div.(初回 90 分、2 回 目 60 分、以後 30 分; 忍容性見ながら)	day1、15
4週毎 耐性になるまで (外来)化療ベット予約:day1,15 は 3 時間、day8 は 2 時間で登録			
Regimen			
<b>day1、15</b>		<b>day8</b>	
10分	メイン①生理食塩液 100mL 1B ※1 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A	10分	メイン①生理食塩液 100mL 1B ※1 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A
30分	側①生理食塩液 50mL 1B	30分	側①生理食塩液 50mL 1B
60分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液( )mg	60分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液( )mg
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B	全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B
※2	側④生理食塩液 100mL 1B べバシズマブ ( )mg	<b>備 考</b> ※1 デキサート注 1週目6. 6mg、2週目3. 3mg、3週目1. 65mg ※2 べバシズマブの投与時間;初回は 90 分かけて点滴静注し、忍容性を見ながら、2 回目 60 分、以後 30 分とする。 ・初回は入院のうえ、モニターを装着して行う。 ・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。 <b>【レジメンシステム登録】</b> 02020-2B べバシズマブ(1/2w)+パクリタキセル(3投1休) ・べバシズマブ投与時間 day1・15 とともに 90 分で登録	
90分 60分 30分	側⑤生理食塩液 50mL 1B		

02021	乳 癌	CMF (original)	申請科
			外科

H28.6 改訂 H30.9 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エンドキサン (cyclophosphamide)	100mg/body	p. o.	day1~14
メソトレキセート (methotrexate)	40mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1, 8
フルオロウラシル (5-FU)	500mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1, 8

4週毎

術後補助:6クール

再発進行癌:耐性まで

(外来)化療ベット予約:30分で登録

Regimen

内服	<b>day1~14</b>			
	エンドキサン錠(50) 2錠 分2朝・夕食後 14日分			
	<b>day1, 8</b>			
	全開 (5分)	メイン①生理食塩液 50mL	1B	
全開 (5分)	側①生理食塩液 50mL メソトレキセート ( )mg	1B		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL フルオロウラシル注 ( )mg	1B		
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL	1B		
<b>備 考</b>				
<b>【レジメンシステム登録】</b>				
02021-1B CMF(original)(入院用) ・エンドキサンはレジメン内の処方に登録				
02021-2B CMF(original)(外来用) ・エンドキサンは実施日に処方オーダー				

02022	乳 癌	CMF (modified)	申請科
			外科

H28.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.2 改訂 R3.5 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エンドキサン (cyclophosphamide)	500mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1, 8
メソトレキセート (methotrexate)	40mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1, 8
フルオロウラシル (5-FU)	500mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1, 8

4週毎

術後補助:6クール

再発進行癌:耐性まで

化療ベット予約:1時間 30分で登録

Regimen

全開 (5分)	day1, 8 メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B		
20分	側①生理食塩液 50mL 1B メソトレキセート ( )mg		
30分	側②生理食塩液 250mL 1B エンドキサン注 ( )mg		
20分	側③生理食塩液 50mL 1B フルオロウラシル注 ( )mg		
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B		
<b>備 考</b>			
【レジメンシステム登録】 02022-1B CMF(modified)			



02024	乳 癌	Doc75+ペルツズマブ+トラスツズマブ (3w)	申請科
			外科

H25.10 登録 H27. 7 改訂 H30. 9 改訂 R2. 6 改訂 **R3. 5 改訂**

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パージェタ (Pertuzumab)	初回 840mg 2回目以降 420mg	div. (初回60min 以上) (2回目以降30min)※	day1
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30min)※	day1
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	div. (1h以上)	day1

3週毎 耐性になるまで

パージェタ、トラスツズマブ投与終了後には経過観察の時間を持ち、Infusion reaction 症状があらわれないことを確認し、次の薬剤を投与して下さい。  
化療ベット予約: 3時間で登録

**Regimen**

day1		備 考	
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	※パージェタ・トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため前投薬(側③)は側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg  <b>【レジメンシステム登録】</b> 02024-1A Doc75+Perjeta+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・Perjeta 投与時間 60分 で入力 ・トラスツズマブ投与時間 90分 で入力 02024-2A Doc75+Perjeta+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降) ・Perjeta 投与時間 30分 で入力 ・トラスツズマブ投与時間 30分 で入力	
※			
60分	側①パージェタ ( )mg 1B		
or	生理食塩液 250mL 1B		
30分			
90分	側②トラスツズマブ ( )mg 1B		
or	生理食塩液 250mL 1B		
30分	大塚蒸留水 100mL 1B (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		
30分	側③グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		
60分	側④5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル注 ( )mg		
全開 (5分)	側⑤生理食塩液 50mL 1B		

02027	乳 癌	カドサイラ療法	申請科
			外科

H26.5 登録、H28.9 改訂 H30.9 改訂 R4.10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
カドサイラ (trastuzumab emtansine)	3.6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	day1

3週毎

化療ベット予約:1時間で登録

Regimen

5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL	1B	
※			
90分	側①生理食塩液 250mL	1B	
or	カドサイラ ( )mg		
30分	大塚蒸留水100mL	1B	
	(カドサイラは必要量の蒸留水で溶解しています)		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL	1B	
			備 考
			<p>※カドサイラは初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分まで短縮できる。</p> <p>・インラインフィルター(0.2 又は 0.22 μm)を通して使用すること。</p> <p>・カドサイラは蒸留水(100mg:5.0mL、160mg:8.0 mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mLに希釈する。</p> <p>・蒸留水は体重換算の量で登録 3.6mg/kg→0.18mL/kg</p> <p>【レジメンシステム登録】 02027-1A カドサイラ療法</p> <p>・カドサイラ投与時間 90 分で登録</p>



02028

乳癌

エリブリン+トラスツズマブ療法

申請科

外科

H26.8 承認 H27.7改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

H 薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30min) ※	Day1
ハラヴェン静注 (エリブリンメシル酸塩)	1. 4mg/m <sup>2</sup>	div(2~5分)	Day1、8
3 週毎 6 サイクル(効果のある限り)		化療ベット予約: day1は1時間、day8 は 30 分で登録	
Regimen			
	<b>day1</b>		
5分 ※	メイン①生理食塩液50mL	1B	
90分 or 30分	側①生理食塩液 250mL トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	1B	<b>備 考</b> ※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・エリブリン+トラスツズマブ療法終了後はトラスツズマブ療法(3w)を行う場合あり ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg
5分	メイン②生理食塩液 50mL デキサート注 6.6mg	1B 1V	
5分	側②生理食塩液 50 mL ハラヴェン静注 ( )mg	1B	
全開 (5分)	側③生理食塩液50mL	1B	<b>【レジメンシステム登録】</b> 02028-1B
	<b>day8</b>		
5分	メイン①生理食塩液 50mL デキサート注 6.6mg	1B 1V	02028-2B エリブリン+トラスツズマブ療法(8mg)(3w)初回
5分	側①生理食塩液 50 mL ハラヴェン静注 ( )mg	1B	エリブリン+トラスツズマブ療法(6mg)(3w)2q 以降 ・Halaven 投与時間 5分 で登録 ・トラスツズマブ投与時間 初回は 90 分、2q 以降は 30 分で登録
5分	側②生理食塩液 50mL	1B	

02029	乳 癌	Doc+CBDCA+トラスツズマブ (3W)療法	申請科
			外科

平成 26.9 登録 H.27.7改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3. 5 改訂 **R3. 9 改訂**

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	day1
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	div. (60min)	day1
カルボプラチン (carboplatin)	AUC=6	div. (60min)	day1

3週毎

化療ベット予約: 3時間30分で登録

Regimen

day1				備 考
5分	メイン①生理食塩液	50mL	1B	※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため day1 の前投薬(側②)は側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg
※				
90分	側①生理食塩液	250mL	1B	
30分	トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)			
30分	側②グラニセロン点滴静注バッグ デキサート注	1mg 6.6mg	1B 2V	
60分	側③5%ブドウ糖液 ドセタキセル ( )mg	250mL	1B	<b>【レジメンシステム登録】</b> ・カルボプラチンは 60 分で登録 ・トラスツズマブ投与時間
60分	側④5%ブドウ糖液 カルボプラチン ( )mg	250mL	1B	02029-1A Doc+CBDCA+トラスツズマブ(3W)(8mg)(初回) 90 分で登録
全開 (5分)	側⑤生理食塩液	50mL	1B	02029-2A Doc+CBDCA+トラスツズマブ(3W)(6mg)(2q 以降) 30 分で登録 ・2018 年 6 月委員会にて投与順序変更を承認 DTX→CBDCA→トラスツズマブから トラスツズマブ→DTX→CBDCA に変更 (乳癌診療ガイドライン参照)

02030	乳 癌	ペルツズマブ+トラスツズマブ +Paclitaxel	申請科
			外科

H27.2 登録、H27.7 改訂、H28.9 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.9 改訂 R4.3 改訂 R6.10 改訂

H 薬 品 名	1 回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パージェタ (Pertuzumab)	初回 840mg 2回目以降 420mg	div. (初回60min 以上) (2 回目以降30min)※1	day1
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min)※1	day1
パクリタキセル (Paclitaxel)	80mg/m <sup>2</sup>	div. (60分)	day1、8、15

3週毎、耐性になるまで  
パージェタ、トラスツズマブ投与終了後には経過観察の時間を持ち、Infusion reaction 症状があらわれていないことを確認し、次の薬剤を投与して下さい。

(外来)化療ベット予約: day1 は 3 時間 30 分、day8,15 は 2 時間で登録

### Regimen

day1		備 考
5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	※1 パージェタ・トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分まで短縮できる。2 回目以降は 30 分で登録 ※2 デキサート注 初回6. 6mg、2回目3. 3mg、3回目1. 65mg ・day8・15 側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg <b>【レジメンシステム登録】</b> 02030-5A PHP(初回)(1 週目) DEX6.6mg 02030-6A PHP(初回)(2 週目) DEX3.3mg 02030-7A PHP (DEX1.65mg) ・初回の 3 週目及び 2q の 2 週目以降用 02030-8A PHP(2q 以降)(1 週目) DEX1.65mg
60 分	側①生理食塩液 250mL 1B	
※1	パージェタ ( )mg	
90 分	側②生理食塩液 250mL 1B	
※1	トラスツズマブ ( )mg	
	大塚蒸留水 100mL ( )mL	
	(トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	
10 分	メイン②生理食塩液 100mL 1B	
	※2 デキサート注 ( )mg	
	ファモチジン注 20mg 1V	
	ポララミン注 5mg 1A	
30 分	側③生理食塩液 50mL 1B	
60 分	側④5%ブドウ糖液 250mL 1B	
	パクリタキセル点滴静注液 ( )mg	
全開	側⑤生理食塩液 50mL 1B	
(5 分)	<b>day8・15</b>	
10 分	メイン①生理食塩液 100mL 1B	
	※2 デキサート注 ( )mg	
	ファモチジン注 20mg 1V	
	ポララミン注 5mg 1A	
30 分	側①生理食塩液 50mL 1B	
60 分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B	
	パクリタキセル点滴静注液 ( )mg	
全開	側③生理食塩液 50mL 1B	
(5 分)		

02031	乳 癌	dose-denseEC 療法	申請科
			外科

H28.10 承認 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.2 改訂 R3.5 改訂 R4.6 改訂 R4.12 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エピルビシン塩酸塩 (epirubicin)	90mg/m <sup>2</sup>	div.	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	600mg/m <sup>2</sup>	div.	day1
ジーラスタ皮下注 (Pegfilgrastim)	3.6mg	皮下	化学療法終了 24~72 時間後
<p>2週毎 術前・術後 4クール エピルビシン 900mg/m<sup>2</sup>まで 引き続きパクリタキセル療法を行うこともあり <span style="float: right;">化療ベット予約: 1時間で登録</span></p>			
Regimen			
15分	<p><b>day1</b> メイン①パロセトン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 1V</p>		<p><b>備 考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支持療法はセット処方オーダー アプレピタント 125mg 1CP 化学療法前 アプレピタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day2,3 デカロン 0.5mg 8錠分2 朝昼食後 day2~4 ロゼハム 0.5mg 2錠分2 朝夕食後 day1 夕~day4 ハミン 5mg 3錠分3 毎食後 day1 夕~day4</li> <li>・ペグフィルグラスチムは未登録。 外来予約注射でオーダーする。 抗がん剤投与終了後、24時間以降 4日後位 (day2~5)までに皮下注射する。</li> </ul> <p><b>【レジメンシステム登録】</b> 02031-1A dose-denseEC 療法</p>
5分	<p>側①生理食塩液 50mL 1B エピルビシン塩酸塩 ( )mg</p>		
30分	<p>側②生理食塩液 250mL 1B エンドキサン注 ( )mg</p>		
全開 (5分)	<p>側③生理食塩液 50mL 1B</p>		
皮下	<p><b>day2~5のうちに1回投与</b> ジーラスタ皮下注 3.6mg 1本</p>		

02032

乳 癌

TC+トラスツズマブ(3w)

申請科

乳腺外科

H30.6 登録 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.2 改訂 R3.5 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	day1
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	div. (1h 以上)	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	600mg/m <sup>2</sup>	div. (15min 以上)	day1
3週毎 4クール			
化療ベット予約: day1 は 3 時間で登録			
Regimen			
	day1		
5分 ※	メイン①生理食塩液50mL	1B	<b>備 考</b> ※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため day1 の前投薬(側②)は側管から投与。 ・TC+トラスツズマブ(3w)療法終了後はトラスツズマブ療法(3w)を計1年間になるように施行 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg  <b>【レジメンシステム登録】</b> 02032-1A TC+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90分で登録 02032-2A TC+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降) ・トラスツズマブ投与時間 30分で登録
90分 or 30分	側①生理食塩液 250mL トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	1B	
30分	側②グラニセロン点滴静注バッグ 1mg デキサート注 6.6mg グラニセロン注 1mg	1B 2V 1A	
60分	側③5%ブドウ糖液 250mL ドセタキセル ( )mg	1B	
30分	側④生理食塩液 250mL エンドキサン注 ( )mg	1B	
全開 (5分)	側⑤生理食塩液50mL	1B	

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02033	共通	乳癌	<a href="#">アテゾリズマブ+nab-Paclitaxel 療法</a>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">IV</span> PS; 0 ~ 1 ( まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )		
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
テセントリク (atezolizumab)	840 mg/body	div (初回 60min) (2回目以降 30min)	Day1,15	
アブラキサン (Paclitaxel アルブミン懸濁型)	100mg/m <sup>2</sup>	div(30min)	Day1,8,15	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4 週毎	化療ベット予約: day1,15 は 2 時間、 day8 は 1 時間で登録		
Radiation 併用 無	1回 Gy ×	日、Total Gy ×	Fr	
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL) = $\frac{100\text{mg}/\text{m}^2 \times \text{体表面積}}{100\text{mg}} \times 20\text{mL}$
5分	day1、15 メイン①生理食塩液 50mL 1B			
※				
60分	側①テセントリク 840mg 1V 生理食塩液 250mL 1B			
5分	側②生理食塩液 50mL 1B			
5分	側③(側②終了後、側②と別ルートで) 生理食塩液 50mL 1B			
30分	側④(側③と同一ルートから) 生理食塩液 ( ) mL ※アブラキサン ( )mg			
全開 (5分)	側⑤(側④終了後、側④と同一ルートから) 生理食塩液 50mL 1B			
5分	day8 メイン①生理食塩液 50mL 1B			
30分	側①生理食塩液( )mL アブラキサン( )mg			
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B			
				<b>備考</b> ※テセントリクは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・アブラキサンは特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。 ・基本的に前投薬は行わないが、サイクル1でinfusion reactionが発現した場合、抗ヒスタミン薬や解熱鎮痛剤(アセトアミノフェン)の前投薬を考慮。 ・テセントリクはインラインフィルターを通す必要があるため、アブラキサンとは別ルートで投与すること。 (アブラキサンはフィルターを通さないこと) <b>【レジメンシステム登録】</b> 02033-1A アテゾリズマブ+ nab-Paclitaxel 療法(初回) アテゾリズマブ投与時間 D1 のみ 60分で登録 02033-2A アテゾリズマブ+ nab-Paclitaxel 療法(2q以降) アテゾリズマブ投与時間 30分で登録

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02034-1A~8A	共通	乳がん	<a href="#">トラスツズマブ(3w)+パクリタキセル療法</a>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; ~ 薬 ( まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )		
剤の量・経路・時間・1クール of 投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
トラスツズマブ (Trastuzumab:TRZ)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30 min)※1	day1	
パクリタキセル(Paclitaxel:PTX)	80mg/m <sup>2</sup>	div. (60分)	day1、8、15	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎 術前・術後:PTX12週、TRZ1年 進行・再発:耐性になるまで		化療ベット予約:day1は3時間30分、 day8,15は2時間で登録	
Radiation 併用 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	備考		
5分 90分 ※1	<b>day1</b> メイン①生理食塩液50mL 1B 側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	※1 トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。2回目以降は30分で登録 ※2 デキサート注 初回6.6mg、2回目3.3mg、3回目1.65mg ・day8・15 側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg		
10分	メイン②生理食塩液 100mL 1B ※2 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注5mg 1A	【レジメンシステム登録】 02034-5A トラスツズマブ(3w)+パクリタキセル(←以下 HP) (1q目)(1週目) DEX6.6mg 02034-6A HP(3w)(1q目)(2週目) DEX3.3mg 02034-7A HP(3w)(DEX1.65mg) ・初回の3週目及び2qの2週目以降用 02034-8A HP(3w)(2q以降)(1週目) DEX1.65mg		
30分 60分	側②生理食塩液 50mL 1B 側③5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg			
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B			
10分	<b>day8-15</b> メイン①生理食塩液 100mL 1V ※2 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注5mg 1A			
30分 60分	側①生理食塩液 50mL 1B 側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg			
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B			

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02035-1A~2A	共通	乳がん	<a href="#">ドーズデンスパクリタキセル療法</a>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV		<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input checked="" type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/>		
PS; ~ ( まで)		その他( )		
薬剤の量・経路・時間・1クールでの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
パクリタキセル (Paclitaxel:PTX)	175mg/m <sup>2</sup>	div.	day1	
ジーラスタ皮下注	3.6mg	皮下注	化学療法終了 2-5 日後	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2 週毎・4 回	化療ベット予約: 4 時間で登録		
Radiation 併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回 Gy×	日、Total	Gy×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			備考
10分	<b>day1</b> 側① 生理食塩液 100mL 1B デキサート注6.6mg 3V ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注5mg 1A			・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。  ・ペグフィルグラスチムは未登録。外来予約注射でオーダーする。 抗がん剤投与終了後、24時間以降4日後位(day2~5)までに皮下注射する。  【レジメンシステム登録】 02035-2A ドーズデンスパクリタキセル療法
30分	側① 生理食塩液 50mL 1B			
180分	側② 5%ブドウ糖液 500mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg			
全開 (5分)	側③ 生理食塩液 50mL 1B			
皮下	<b>day2~5のうちに1回投与</b> ザーラスタ皮下注3.6mg 1本			



コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02036	共通	乳癌	<u>ペムブロリズマブ+ゲムシタビン+</u> <u>カルボプラチン療法(3週間間隔)</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b>		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input checked="" type="checkbox"/> その他(PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性)		
PS; ~ ( まで)				
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg/body	div(30分)	Day1	
ゲムシタビン (Gemcitabin)	1000mg/m <sup>2</sup>	div(30分)	Day1、8	
カルボプラチン (carboplatin)	AUC2	div(2時間)	Day1、8	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・回	化療ベット予約: Day1: 2時間30分 Day 8: 2時間で登録		
Radiation 併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	Day 8		
5分	Day 1 メイン①生食 50mL 1B	5分	メイン ① グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V	
30分	側①生食 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V	30分	側① 5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( ) mg	
5分	側②生食 50mL 1B	1時間	側②生理食塩液 250mL 1B カルボプラチン ( ) mg	
5分	メイン② グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V	5分	側③生理食塩液 50mL 1B	
30分	側③ 5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( ) mg	備考		
1時間	側④生理食塩液 250mL 1B カルボプラチン ( ) mg	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mLとなるように調製すること</li> <li>・キイトルーダは30分間かけて点滴静注すること</li> <li>・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。</li> </ul>		
5分	側⑤生理食塩液 50mL 1B	【レジメンシステム登録】		
備考		02036-1A ペムブロリズマブ+ゲムシタビン+ カルボプラチン療法(3週間間隔)		
・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5μm)を使用すること				

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02037	共通	乳がん	<a href="#">ペムブロリズマブ(3週間隔)+パクリタキセル療法(12週間隔)</a>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b>		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input checked="" type="checkbox"/> その他(PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性)		
PS; ~ ( まで)				
薬剤の量・経路・時間・1クールでの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg /body	div(30分)	Day1、22、43、64 84日毎	
パクリタキセル (Paclitaxel:PTX)	90mg/m <sup>2</sup>	div(60分)	Day1、8、15、29、36、43、 57、64、71 84日毎	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	12週毎・回	化療ベット予約: ペムブロリズマブ単独日: 1時間、 ペムブロリズマブ+パクリタキセル併用日: 2時間30分、 パクリタキセル単独日: 2時間で登録		
Radiatio 併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回 Gy×	日、Total	Gy×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	Day22		
5分	<u>Day1、43、64</u> メイン①生理食塩液 50mL 1B	5分	メイン①生理食塩液 50mL	1B
30分	側①生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V	30分	側①生理食塩液 100mL	1B
5分	側②生理食塩液 50mL 1B	5分	側②生理食塩液 50mL	1B
10分	メイン①生理食塩液 100mL 1B ※デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポラミン注 5mg 1A	※レジメンシステムは12週で登録		
30分	側①生理食塩液 50mL 1B	備考		
60分	側②大塚糖液5% 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液( )mg	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5 μm)を使用すること</li> <li>・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mLとなるように調製すること</li> <li>・キイトルーダは30分間かけて点滴静注すること</li> <li>・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。</li> </ul>		
全開(5分)	側③生理食塩液 50mL 1B <u>Day8、15、29、36、57、71</u>	※デキサート注		
10分	メイン①生理食塩液 100mL 1B ※デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポラミン注 5mg 1A	初回 6.6mg、2回目3.3mg、 3回目以降1.65mg		
30分	側①生理食塩液 50mL 1B	・PTX 投与時の側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。		
60分	側②大塚糖液5% 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液( )mg			
全開(5分)	側③生理食塩液 50mL 1B			

**【レジメンシステム登録】**

02037-1A ペムブロリズマブ(3 週間隔)+パクリタキセル療法(12 週間隔)1クール目

02037-2A ペムブロリズマブ(3 週間隔)+パクリタキセル療法(12 週間隔)2クール目以降

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02038	共通	乳がん	<a href="#">ペムプロリズマブ(400mg6週間間隔)</a> <a href="#">+パクリタキセル療法(12週間隔)</a>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b> PS; ~ (まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input checked="" type="checkbox"/> その他(PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性)		
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	400mg /body	div(30分)	Day1、43 84日毎	
パクリタキセル (Paclitaxel:PTX)	90mg/m <sup>2</sup>	div(60分)	Day1、8、15、29、36、43、57、 64、71 84日毎	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	12週毎・回	化療ベット予約: ペムプロリズマブ+パクリタキセル併用日:2時間30分、 パクリタキセル単独日:2時間で登録		
Radiation 併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回 Gy×	日、Total Gy×	Fr	
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート		※レジメンシステムは12週で登録	
	<u>Day1、43</u>		備考	
5分	メイン①生理食塩液 50mL	1B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペムプロリズマブ(3週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間隔)で忍容性確認後、ペムプロリズマブ(400mg6週間隔)のレジメンに移行する。</li> <li>・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5μm)を使用すること</li> <li>・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mLとなるように調製すること</li> <li>・キイトルーダは30分間かけて点滴静注すること</li> <li>・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。</li> </ul>	
30分	側①生理食塩液 100mL	1B		
	キイトルーダ 100mg	4V		
5分	側②生理食塩液 50mL	1B		
10分	メイン①生理食塩液 100mL	1B		
	※デキサート注 ( )mg			
	ファモチジン注 20mg	1V		
	ポララミン注 5mg	1A		
30分	側①生理食塩液 50mL	1B		
60分	側②5%ブドウ糖液 250mL	1B		
	パクリタキセル点滴静注液( )mg			
全開(5分)	側③生理食塩液 50mL	1B	※デキサート注	
	<u>Day8、15、29、36、57、64、71</u>		初回 6.6mg、2回目3.3mg、3回目以降1.65mg	
10分	メイン①生理食塩液 100mL	1B	・PTX 投与時の側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。	
	※デキサート注 ( )mg			
	ファモチジン注 20mg	1V		
	ポララミン注 5mg	1A		
30分	側①生理食塩液 50mL	1B	【レジメンシステム登録】	
60分	側②5%ブドウ糖 250mL	1B	02038-1A ペムプロリズマブ(400mg6週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間隔)1クルル目	
	パクリタキセル点滴静注液( )mg		02038-2A ペムプロリズマブ(400mg6週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間隔)2クルル目以降	
全開(5分)	側③生理食塩液 50mL	1B		

## R4.3 登録

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科	
02039	共通	乳がん	<a href="#">ペムブロリズマブ (3 週間隔) + nab-Paclitaxel 療法 (12 週間隔)</a>	乳腺外科	
適応患者					
病期(stage) ; I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b> P S ; ~ ( まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性)			
薬剤の量・経路・時間・1クール of 投与方法・インターバル日数、最大投与回数 (クール数)、化療ベット時間					
薬 品 名	1 回 (1 日) 投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)		
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg /body	<b>div (30分)</b>	Day1、22、43、64 84 日毎		
アブラキサン (Paclitaxel アルブミン懸濁型)	100mg/m <sup>2</sup>	<b>div (60分)</b>	Day1、8、15、29、36、43、 57、64、71 84 日毎		
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	12 週毎・回	化療ベット予約：ペムブロリズマブ単独日：1時間、 ペムブロリズマブ+アブラキサン併用日：1時間30分、 アブラキサン単独日：1時間で登録			
Radiation 併用 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1 回 Gy ×	日、Total	Gy ×	Fr	
レジメン					
投与時間	投与日及び投与ルート		投与時間	投与日及び投与ルート	
5 分	<u>Day1、43、64</u> メイン①生理食塩液 50 mL 1B		5 分	<u>Day8、15、29、36、57、71</u> メイン①生理食塩液 50 mL 1B	
30 分	側①生理食塩液 100 mL 1B キイトルーダ 100 mg 2V		30 分	側①生理食塩液 ( ) ※アブラキサン ( ) mg	
5 分	側②生理食塩液 50ml 1B		全開	側②生理食塩液 50 mL 1B	
5 分	側③(側②終了後、側②と別ルートで) 生理食塩液 50 mL 1B		(5分)		
30 分	側④(側③と同一ルートから) 生理食塩液 ( ) mL ※アブラキサン ( ) mg			※アブラキサン 100mg (1V) あたり生理食塩液 20mL で溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量 (mL) = $100\text{mg} / \text{m}^2 \times \text{体表面積}$ _____ × 20mL 100mg	
全開 (5分)	側⑤(側④終了後、側④と同一ルートから) 生理食塩液 50 mL 1B				
	<u>Day22</u>				
5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B		備 考		
30 分	側①生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V		<ul style="list-style-type: none"> <li>・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2~5μm) を使用すること</li> <li>・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mLとなるように調製すること</li> <li>・キイトルーダは30分間かけて点滴静注すること</li> </ul>		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B				

・キイトルーダにより **infusion reaction** が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。

・アブラキサンは特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。

・キイトルーダはインラインフィルターを通す必要があるため、アブラキサンとは別ルートで投与すること。

(アブラキサンはフィルターを通さないこと)

【レジメンシステム登録】

02039-1A

ペムプロリズマブ (3 週間隔) + nab-Paclitaxel 療法  
(12 週間隔)

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02040	共通	乳がん	<u>ペムブロリズマブ (400mg6 週間隔)</u> <u>+ nab-Paclitaxel 療法 (12 週間隔)</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage) ; I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b> P S ; ~ ( まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性)		
薬剤の量・経路・時間・1クール of 投与方法・インターバル日数、最大投与回数 (クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回 (1日) 投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	400mg /body	div (30分)	Day1、43 84日毎	
アブラキサン (Paclitaxel アルブミン懸濁型)	100mg/m <sup>2</sup>	div (60分)	Day1、8、15、29、36、43、 57、64、71      84日毎	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	12 週毎・回	化療ベット予約： ペムブロリズマブ+アブラキサン併用日：1時間30分、 アブラキサン単独日：1時間で登録		
Radiation 併用 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回 Gy ×	日、 Total	Gy ×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート		投与時間	投与日及び投与ルート
5分	<b>Day1、43</b> メイン①生理食塩液 50mL 1B		5分	<b>Day8、15、29、36、57、64、71</b> メイン①生理食塩液 50mL 1B
30分	側①生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ100mg 4V		30分	側①生理食塩液 ( ) ※アブラキサン ( ) mg
5分	側②生理食塩液 50ml 1B		全開	側②生理食塩液 50mL 1B
5分	側③(側②終了後、側②と別ルートで) 生理食塩液 50mL 1B		(5分)	
30分	側④(側③と同一ルートから) 生理食塩液 ( ) mL ※アブラキサン ( ) mg		<b>備 考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペムブロリズマブ (3 週間隔) + nab-Paclitaxel 療法 (12 週間隔) で忍容性確認後、ペムブロリズマブ (400mg 6 週間隔) のレジメンに移行する。</li> <li>・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2~5μm) を使用すること</li> <li>・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1~10mg/mL となるように調製すること</li> <li>・キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること</li> </ul>	
全開 (5分)	側⑤(側④終了後、側④と同一ルートから) 生理食塩液 50mL 1B			
※アブラキサン 100mg (1V) あたり生理食塩液 20mL で溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量 (mL) = $\frac{100\text{mg}}{100\text{mg}/\text{m}^2 \times \text{体表面積}} \times 20\text{mL}$ <div style="text-align: center;">100mg</div>				

- ・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。
- ・アブラキサンは特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。
- ・キイトルーダはインラインフィルターを通す必要があるため、アブラキサンとは別ルートで投与すること。  
(アブラキサンはフィルターを通さないこと)

【レジメンシステム登録】

02040-1A ペムブロリズマブ(400mg 6週間隔) + nab-Paclitaxel 療法(12週間隔)



コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02041-1A	共通	再発または転移性乳癌	<u>ナブパクリタキセル(毎週)+ベバシズマブ療法</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <b>IIIc</b> <b>IV</b> PS;0~1( まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )		
薬剤の量・経路・時間・1クール of 投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
アブラキサン (Paclitaxel アルブミン 懸濁型)	100mg/m <sup>2</sup>	div(30分)	day1,8,15	
ベバシズマブ (Bevacizumab)	10mg/kg	div(初回 90分、2回目 60分、 以降 30分; 忍容性みながら)	day1,15	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4週毎 可能なかぎり継続	化療ベット予約: day1,15 は 1.5時間、day8 は 1時間で登録		
Radiation 併用 有(無)	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5分	day1, 15 メイン①生理食塩液 50mL 1B		5分	day8 メイン①生理食塩液 50mL 1B
30分	側①生理食塩液 ( )mL ※アブラキサン( )mg		30分	側①生理食塩液 ( )mL ※アブラキサン( )mg
5分	側②生理食塩液 50mL 1B		全開(5分)	側②生理食塩液 50mL 1B
※1 90分 60分 30分	側③生理食塩液 100mL 1B ベバシズマブ ( )mg		<b>備考</b> ※1 ベバシズマブの投与時間: 初回は 90分かけて点滴静注し、忍容性を見ながら、2回目 60分、以降 30分とする。 ・アブラキサン注は特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、特定生物由来製品使用同意書を得る。 ・投与時、インラインフィルターは使用しない。	
全開(5分)	側④生理食塩液 50mL 1B			
※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL) = $\frac{100\text{mg}/\text{m}^2 \times \text{体表面積}}{100\text{mg}} \times 20\text{mL}$			<b>【レジメンシステム登録】</b> 02041-1A ナブパクリタキセル(毎週)+ベバシズマブ療法 ・ベバシズマブ投与時間 day1,15 とともに 90分で登録	

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科	
02042-1A	共通	ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の再発高リスク乳癌	<u>ペムブロリズマブ+パクリタキセル</u> <u>+カルボプラチン(3週間隔)</u>	乳腺外科	
適応患者					
病期(stage); I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> adjuvant <input checked="" type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行			
PS;0~1( まで)		<input type="checkbox"/> その他( )			
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間					
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)		
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg/body	div(30分)	day1		
パクリタキセル (Paclitaxel)	80mg/m <sup>2</sup>	div(60分)	day1、8、15		
カルボプラチン (Carboplatin)	AUC5	div(30分)	day1		
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・4回	化療ベット予約:Day1:3時間、Day8、15:2時間で登録			
Radiation 併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回 Gy×	日、Total Gy×	Fr		
レジメン					
投与時間	投与日及び投与ルート				
5分	メイン①生理食塩液 50mL	1B	30分	側①生理食塩液 50mL	1B
30分	側①生理食塩液 100mL	1B	60分	側②大塚糖液 5% 250mL	1B
	キイトルーダ 100mg	2V		パクリタキセル ( ) mg	
5分(全開)	側②生理食塩液 50mL	1B	5分(全開)	側③生理食塩液 50mL	1B
10分	メイン②生理食塩液 100mL	1B	<b>備考</b>		
	デキサート注 6.6mg	1V	・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2~5 μm) を使用すること		
	ファモチジン注 20mg	1V	・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mLとなるように調製すること		
	ポララミン注 5mg	1A	・キイトルーダは30分間かけて点滴静注すること		
30分	メイン③パロセトン点滴静注バッグ 0.75mg	1B	・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること		
60分	側③大塚糖液 5% 250mL	1B	・パクリタキセル投与時の day8、15の側①生食はドリップアイを使用し、滴下時間(30分)を調節するため側管から投与		
	パクリタキセル ( ) mg		・アプレピタント・デカドロンは内服処方オーダー		
30分	側④大塚糖液 5% 250mL	1B	アプレピタント 125mg 1CP 分1 化学療法前		
	カルボプラチン ( ) mg		アプレピタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day2、3		
5分(全開)	側⑤生理食塩液 50mL	1B	デカドロン錠 0.5mg 8錠 分2 朝昼食後 day2~4		
			<b>【レジメンシステム登録】</b>		
10分	メイン①生理食塩液 100mL	1B	02042-1A ペムブロリズマブ+パクリタキセル		
	デキサート注 6.6mg	1V	+カルボプラチン(3週間隔)		
	ファモチジン注 20mg	1V			
	ポララミン注 5mg	1A			

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科	
02043-1A	共通	ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の再発高リスク乳癌	<u>ペムブロリズマブ+パクリタキセル</u> <u>+カルボプラチン(1週間隔)</u>	乳腺外科	
適応患者					
病期(stage); I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> PS;0~1( まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input checked="" type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )		
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間					
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)		
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg/body	div(30分)	day1		
パクリタキセル (Paclitaxel)	80mg/m <sup>2</sup>	div(60分)	day1、8、15		
カルボプラチン (Carboplatin)	AUC1.5	div(30分)	day1、8、15		
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・4回	化療ベット予約:Day1:3時間、Day8、15:2.5時間で登録			
Radiation 併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回 Gy×	日、Total Gy×	Fr		
レジメン					
投与時間	投与日及び投与ルート				
			30分	メイン②グラニセトロン点滴注 <sup>バグ</sup>	1B
			60分	側①大塚糖液 5% 250mL	1B
5分	メイン①生理食塩液 50mL	1B		パクリタキセル ( ) mg	
30分	側①生理食塩液 100mL	1B	30分	側②大塚糖液 5% 250mL	1B
	キイトルーダ 100mg	2V		カルボプラチン ( ) mg	
5分(全開)	側②生理食塩液 50mL	1B	5分(全開)	側③生理食塩液 50mL	1B
10分	メイン②生理食塩液 100mL	1B	<b>備考</b>		
	デキサート注 6.6mg	1V	・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2~5 μm) を使用すること		
	ファモチジン注 20mg	1V	・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mL となるように調製すること		
	ボララミン注 5mg	1A	・キイトルーダは30分間かけて点滴静注すること		
30分	メイン③グラニセトロン点滴注 <sup>バグ</sup>	1B	・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること		
60分	側③大塚糖液 5% 250mL	1B	・デカドロン錠は適宜内服処方オーダー デカドロン錠 4mg 2錠 分2 朝昼食後 day2~4		
	パクリタキセル ( ) mg		<b>【レジメンシステム登録】</b>		
30分	側④大塚糖液 5% 250mL	1B	02043-1A ペムブロリズマブ+パクリタキセル		
	カルボプラチン ( ) mg		+カルボプラチン(1週間隔)		
5分(全開)	側⑤生理食塩液 50mL	1B			
10分	メイン①生理食塩液 100mL	1B			
	デキサート注 6.6mg	1V			
	ファモチジン注 20mg	1V			
	ボララミン注 5mg	1A			

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02044-1A	共通	ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の再発高リスク乳癌	<u>ペムブロリズマブ+EC</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV			<input type="checkbox"/> adjuvant <input checked="" type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行	
PS:0~1( まで)			<input type="checkbox"/> その他( )	
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg/body	div(30分)	day1	
エピルビシン塩酸塩 (Epirubicin)	90mg/m <sup>2</sup>	div(5分)	day1	
エンドキサン (Cyclophosphamide)	600mg/m <sup>2</sup>	div(30分)	day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・4回	化療ベット予約: 1時間30分		
Radiation 併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B			<b>備考</b> ・原則、ペムブロリズマブ+PTX+CBDCA 4サイクル投与後に使用 ・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5μm)を使用すること ・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mLとなるように調製すること ・キイトルーダは30分間かけて点滴静注すること ・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること ・患者リスクに応じてペグフィルグラスチムの投与を考慮(外来予約注射でオーダ・抗がん剤投与終了後24時間以降4日後くらい(day2~5)までに皮下注射する) ・支持療法はセット処方でもオーダ アプレタト 125mg 1CP 分1 化学療法前 アプレタト 80mg 1CP 分1 朝食後 day2,3 テカドロン錠 0.5mg 8錠 分2 朝食後 day2-4 ロゼパム錠 0.5mg 2錠 分2 朝夕食後 day1 夕-day4 ハシ錠 5mg 3錠 分3 毎食後 day1 夕-day4 <b>【レジメンシステム登録】</b> 02044-1A ペムブロリズマブ+EC
30分	側①生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V			
5分(全開)	側②生理食塩液 50mL 1B			
15分	メイン②パロセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 1B			
5分	側③生理食塩液 50mL 1B エピルビシン塩酸塩 ( ) mg			
30分	側④生理食塩液 250mL 1B エンドキサン ( ) mg			
5分(全開)	側⑤生理食塩液 50mL 1B			

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02045-1A	共通	ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の再発高リスク乳癌	<u>ペムブロリズマブ (術後)(3w)(乳癌)</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV			<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )	
PS;0~1( まで)				
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg/body	div(30分)	day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・9回	化療ベット予約: 1時間		
Radiation 併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
	<b>day1</b>			
5分	メイン①生理食塩液 50mL	1B	<b>備考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・術前薬物療法として、キイトルーダ併用療法を行った場合に、術後療法として投与</li> <li>・キイトルーダは 200mg (3週毎・9回) と 400mg(6週毎・5回)を投与開始時に選択、途中で切り替え可能</li> <li>・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2~5μm) を使用すること</li> <li>・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1~10mg/mL となるように調製すること</li> <li>・キイトルーダは 30分間かけて点滴静注すること</li> <li>・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</li> </ul>	
30分	側①生理食塩液 100mL キイトルーダ 100mg	1B 2V		
5分(全開)	側②生理食塩液 50mL	1B		
			<b>【レジメンシステム登録】</b> 02045-1A ペムブロリズマブ(術後)(3w)(乳癌)	

## R4.12 登録

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02046-1A	共通	ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の再発高リスク乳癌	<u>ペムブロリズマブ(術後)(6w)(乳癌)</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV		<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )		
PS:0~1( まで)				
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
キイトルーダ(Pembrolizumab)	400mg/body	div(30分)	day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	6週毎・5回	化療ベット予約: 1時間		
Radiation 併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回 Gy×	日、Total Gy×	Fr	
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
	<b>day1</b>			
5分	メイン①生理食塩液 50mL	1B	<b>備考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・術前薬物療法として、キイトルーダ併用療法を行った場合に、術後療法として投与</li> <li>・キイトルーダは 200mg (3週毎・9回) と 400mg(6週毎・5回)を投与開始時に選択、途中で切り替え可能</li> <li>・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2~5μm) を使用すること</li> <li>・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1~10mg/mL となるように調製すること</li> <li>・キイトルーダは 30分間かけて点滴静注すること</li> <li>・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</li> </ul>	
30分	側①生理食塩液 100mL	1B		
	キイトルーダ 100mg	4V		
5分(全開)	側②生理食塩液 50mL	1B		
【レジメンシステム登録】				
02046-1A      ペムブロリズマブ(術後)(6w)(乳癌)				

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
2047-1A	共通	化学療法歴のある HER2 陽性の手術不能又は再発乳癌	<a href="#">トラスツズマブ デルクステカン(乳癌)</a>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb (IV) PS; 0~1 ( まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )		
薬剤の量・経路・時間・1クールでの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名		1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)
エンハーツ (Trastuzumab Deruxtecan)		5.4mg/kg	div (初回 90 分) (2 回目以降 30 分)	Day1
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)		3 週毎	化療ベット予約: 1.5 時間で登録	
Radiation 併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		1回 Gy×	日、Total Gy×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
	day1			
	備考			
30 分	メイン①パロセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 1V デキサート注 1.65mg 2A			
10 分	側①5%ブドウ糖液 100mL 1B			
※				
90 分	側②5%ブドウ糖液 100mL 1B			
又は	エンハーツ ( )mg			
30 分	大塚蒸留水 100mL 1B (エンハーツは必要量の蒸留水で溶解しています)			
10 分 (全開)	側③5%ブドウ糖液 100mL 1B			
※エンハーツは初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分まで短縮できる ・インラインフィルター (0.2 μm) を通して使用すること ・点滴バックを遮光すること ・調製後 4 時間以内に使用すること ・エンハーツは蒸留水(100mg:5.0mL)で溶解し、必要量を抜き取り、5%ブドウ糖液 100mL に希釈する ・蒸留水は体重換算の量で登録 5.4mg/kg→0.27mL/kg ・デカドロンは内服処方オーダ デカドロン錠 4mg 2 錠 分 2 朝食食後 day2~4 ・アプレピタント、オランザピンは患者状態に応じて適宜内服処方オーダ アプレピタント 125mg 1CP 分 1 化学療法前 アプレピタント 80mg 1CP 分 1 朝食後 day2, 3 オランザピン OD 錠 5mg 1 錠 分 1 寝る前 <u>但し、オランザピンは糖尿病の患者・既往のある患者への投与は禁忌</u> <b>【レジメンシステム登録】</b> 02047-1A トラスツズマブ デルクステカン(乳癌)				

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
2048	共通	HER2 陽性乳癌	<a href="#">フェスゴ配合皮下注療法</a>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IIIc <input type="checkbox"/> IV			■adjuvant ■ neoadjuvant ■再発・進行	
PS; 0 ~ 1 ( まで)			<input type="checkbox"/> その他( )	
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)	
フェスゴ配合皮下注 (Pertuzumab:Per) (Trastuzumab:TRZ) (Vorhyaluranidase Alfa:VA)	初回: フェスゴ IN (Per:1200mg、 TRZ:600mg、 VA:30000U)  2回目以降: フェスゴ MA (Per:600mg、 TRZ:600mg、 VA:20000U)	皮下注射(大腿部)  初回:8分以上かけて  2回目以降:5分以上かけて	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	<input type="checkbox"/> 3週毎・回 術前・術後療法: 12か月まで 進行再発: 効果がある限り継続	化療ベット予約: 0.5 時間で登録		
Radiation 併用 有・ <input type="checkbox"/> 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	備考		
初回 8分以上  2回目以降 5分以上	Day1  フェスゴ皮下注 初回 フェスゴ配合皮下注 IN 15mL  2回目以降 フェスゴ配合皮下注 MA 10mL  ※薬剤部でシリンジに採取し、 ニプロ コンビキャップを装着し、払出し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回投与時は、8分以上かけて大腿部に皮下投与</li> <li>・2回目以降は、5分以上かけて大腿部に皮下投与</li> <li>・予定された投与が遅れた場合は、以下のとおり投与することが望ましい。</li> </ul> <p>前回投与日から6週間未満のとき: 維持投与量(フェスゴ配合皮下注 MA)</p> <p>前回投与日から6週間以上のとき: 改めて初回投与量(フェスゴ配合皮下注 IN)を投与し、次回以降は維持投与量を3週間間隔で投与</p> <p>【レジメンシステム登録】 2048-1A:【初回】フェスゴ配合皮下注 IN 2048-2A:フェスゴ配合皮下注 MA(維持)</p>		



コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
2049	共通	HER2 陽性乳癌	<a href="#">PTX+フェスゴ配合皮下注</a>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage): I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IIIc <input type="checkbox"/> IV		■adjuvant ■ neoadjuvant ■再発・進行		
PS: 0 ~ 1 ( まで)		□その他( )		
薬剤の量・経路・時間・1クールでの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
フェスゴ配合皮下注 (Pertuzumab:Per) (Trastuzumab:TRZ) (Vorhyaluranidase Alfa:VA)	初回: フェスゴ IN (Per:1200mg TRZ:600mg VA:30000U)  2回目以降: フェスゴ MA (Per:600mg TRZ:600mg VA:20000U)	皮下注射(大腿部)  初回:8分以上かけて  2回目以降:5分以上かけて	Day1	
パクリタキセル(Paclitaxel)	80mg/m <sup>2</sup>	div. (60分)	Day1、8、15	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・回 術前・術後療法: 12か月まで 進行再発: 効果がある限り継続	化療ベット予約: Day1 は 2 時間 30 分 Day8.15 は 2 時間で登録		
Radiatio 併用 有・ <input type="checkbox"/> 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
ルートキープ (2時間)	day1 メイン①生理食塩液 100mL 1B		10分	day8・15 メイン①生理食塩液 100mL 1B ※2 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V
初回 8分以上 2回目以降 5分以上	①フェスゴ皮下注 初回 フェスゴ配合皮下注 IN 15mL 2回目以降 フェスゴ配合皮下注 MA 10mL ※薬剤部でシリンジに採取し、ニプロ コンビキャップを装着し、払出し ◆フェスゴ投与30分後、前投薬開始。2回目以降は15分。生食の残液は廃棄		30分 60分	ポララミン注 5mg 1A 側①生理食塩液 50mL 1B 側②5%ブドウ糖液 250mL 1B
10分	メイン②生理食塩液 100mL 1B ※2 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A		全開 (5分)	パクリタキセル点滴静注液 ( )mg 側③生理食塩液 50mL 1B
30分 60分	側②生理食塩液 50mL 1B 側③5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg		備考 ・フェスゴ投与終了後には経過観察の時間を持ち、Infusion reaction 症状があらわれていないことを確認し、次の薬剤を投与する。(初回 30分、問題なければ 2回目以降 15分) ・フェスゴは初回投与時は、8分以上かけて、2回目以降は、5分以上かけて大腿部に皮下投与 ・フェスゴは予定された投与が遅れた場合は、以下のとおり投与することが望ましい。	
全開(5分)	側④生理食塩液 50mL 1B			

		<p>前回投与日から6週間未満のとき： 維持投与量(フェスゴ配合皮下注 MA)</p> <p>前回投与日から6週間以上のとき： 改めて初回投与量(フェスゴ配合皮下注 IN)を投与し、次回以降は維持投与量を3週間間隔で投与</p> <p>※2 デキサート注</p> <p>初回6.6mg、2回目3.3mg、3回目1.65mg ・day8・15 側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。</p> <p><b>【レジメンシステム登録】</b></p> <p>2049-1A (1-1)PTX+フェスゴ配合皮下注 IN(DEX6.6mg) 2049-2A (1-2)PTX+フェスゴ(DEX3.3mg) 2049-3A (1-3 以降)PTX+フェスゴ(DEX1.65mg) 2049-4A (2-1 以降)PTX+フェスゴ配合皮下注 MA (DEX1.65mg)</p>
--	--	--